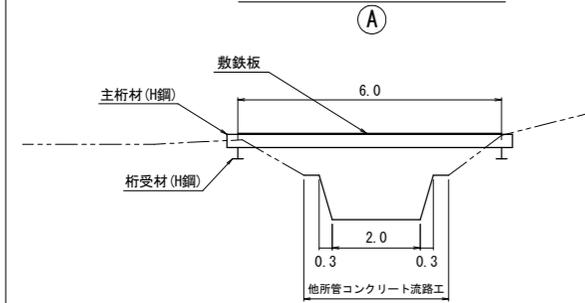


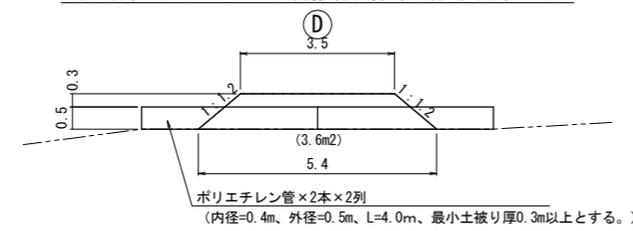
1. 運搬工

- 簡易仮設橋 (A区間) : 敷鉄板 (PL-22×1524×6096) 3枚
主桁材 (H-300×300×10×15) 6.0m × 7本
桁受材 (H-250×250×9×14) 5.0m × 2本
締結金具 (ロックマンH-1相当品) 76ヶ
- 渡河部 (D区間) : 延長 6m
ポリエチレン管 (φ=0.4m, L=4.0m) 2列×2本 (ダブルプレスト管相当品)
盛土量 3.6m² × 延長6m = 21.6m³
- 作業道新設 (E区間) : 延長 50m
敷砂利 延長50m × 断面積0.6m² (厚さ0.2m×幅3.0m) = 30.0m³
- 作業ヤード (F区間) : 範囲 10m × 15m
敷砂利 延長15m × 断面積2.0m² (厚さ0.2m×幅10.0m) = 30.0m³

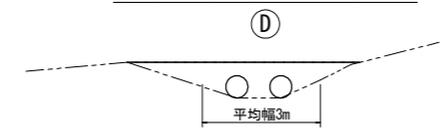
簡易仮設橋断面図 (1/100)



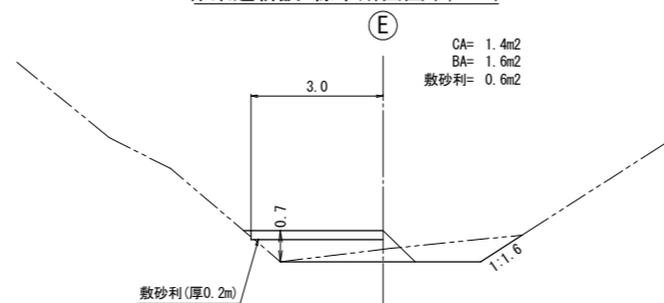
渡河部 ポリエチレン管敷設 標準断面図 (1/100)



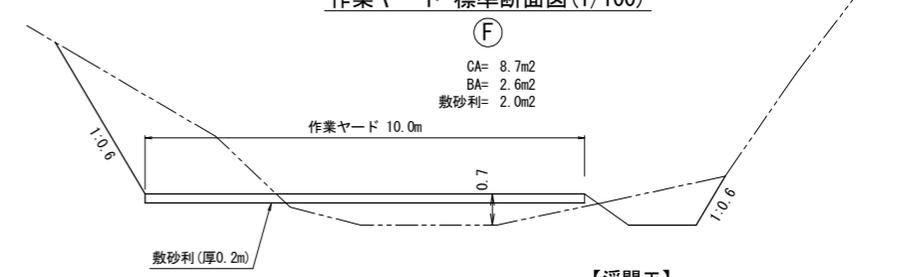
渡河部 標準縦断面図 (1/100)



作業道新設 標準断面図 (1/100)



作業ヤード 標準断面図 (1/100)

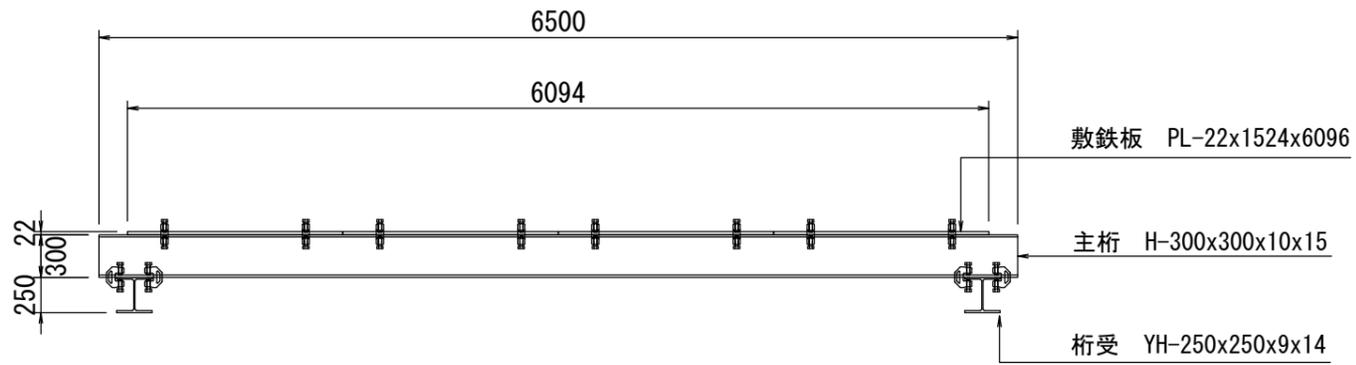


【溪間工】

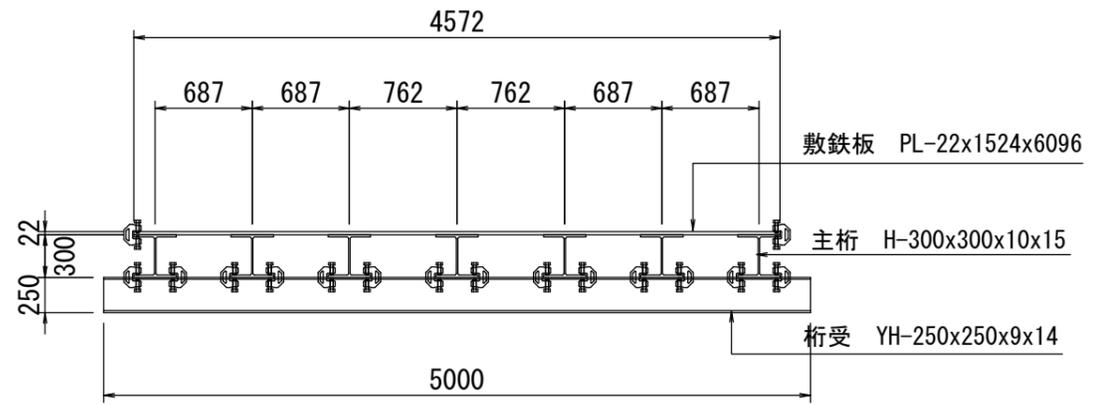
図面名	仮施設計画図	
図面番号	縮尺	図示

仮設棧橋工構造図

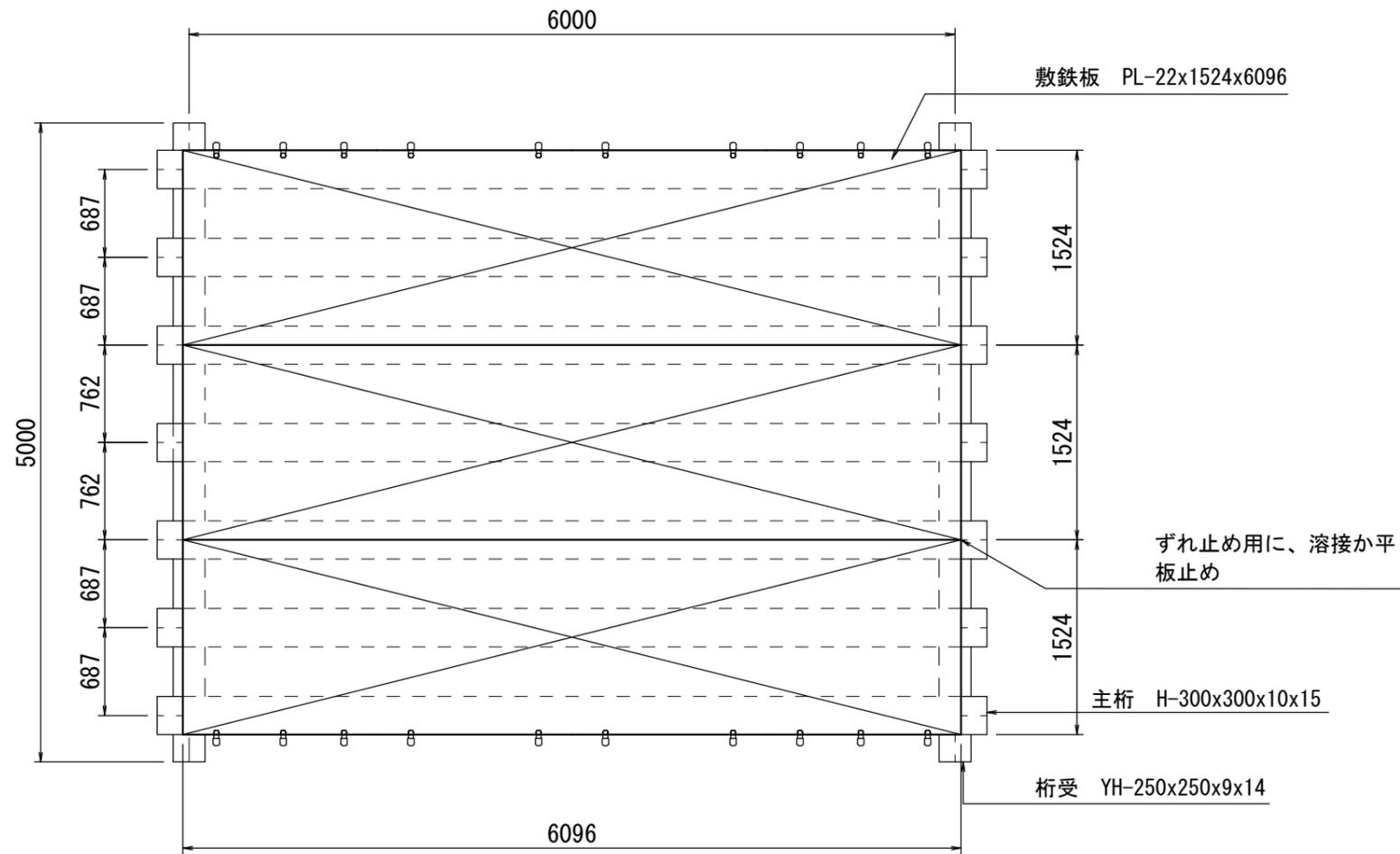
側面図 S=1:50



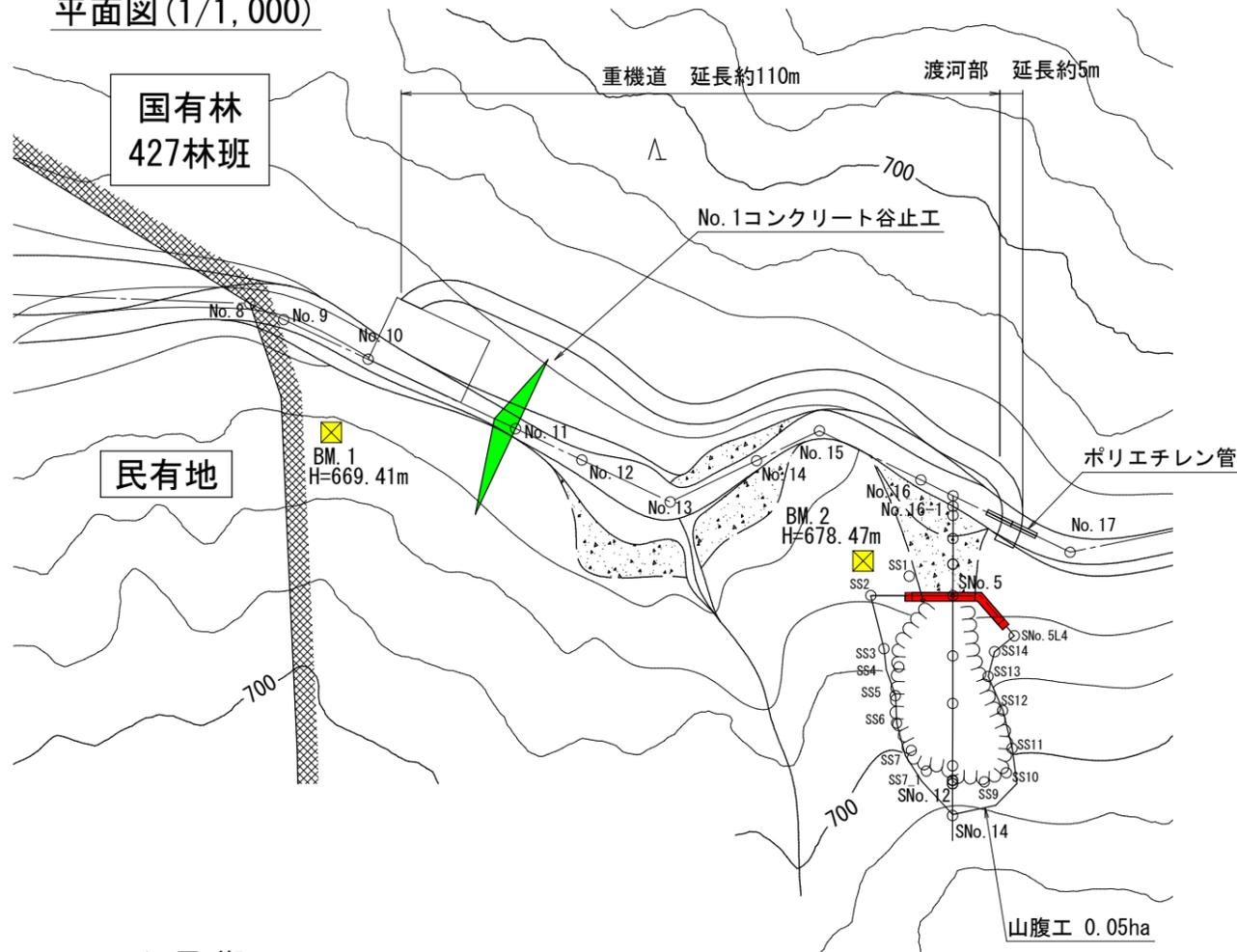
断面図 S=1:50



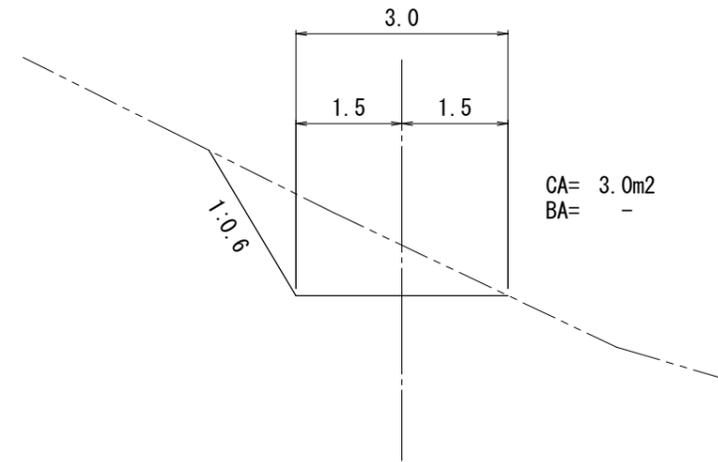
平面図 S=1:50



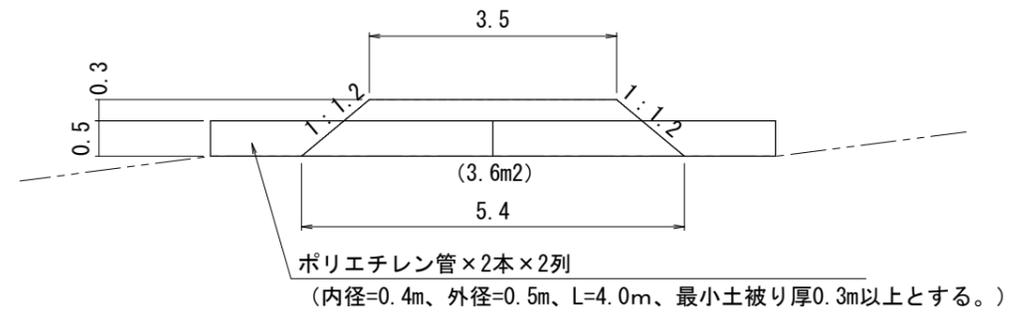
平面図 (1/1,000)



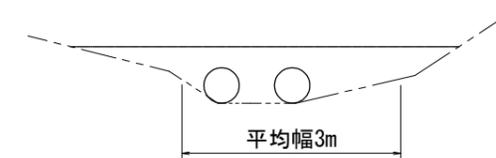
重機道 標準断面図 (1/100)



渡河部 ポリエチレン管敷設 標準断面図 (1/100)



渡河部 標準縦断面図 (1/100)



1. 運搬工

山腹工を施工する際の資機材等の運搬については、No.1コンクリート谷止工の仮施設計画を使用するとともに、作業ヤードから施工箇所までの間に重機道を約120m新設して行うこととする。

なお、斜面上部で行う土工(のり切工等)については、斜面上部まで自走が可能なセーフティークライマーマシンにより行うこととする(セーフティークライマー工法)。

◎重機道：

延長 110m

切土量(礫質土) 3.0m² × 延長110m = 330.0m³

渡河部：

延長 5m

ポリエチレン管(φ=0.4m、L=4.0m) 2列×2本(ダブルプレスト管相当品)

盛土量 3.6m² × 延長5m = 18.0m³

【山腹工】

図面名	仮施設計画図		
図面番号		縮尺	図示